

平成 28 年度実績に係る部局評価書

部局名: 附属図書館

【評価区分1】 部局年度計画に係る 自己評価に対する評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」に おける年度毎の状況評価】	【総合評価】 評価区分1及び評価区分2 に基づく評価
A	—	A

【評価区分1: 部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評 定	コメント(評定に至った理由)
【教育】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 生命科学図書館の改修によるラーニングコモンズスペースの拡張、同図書館への TA 配置など、教育支援機能の強化を図っており、同図書館の入館者数も平成 26、27 年度と比較して増加していることが評価できる。
【研究】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。 経営企画オフィス URA 部門との共同企画による研究成果発信能力の強化に資するワークショップの開催など、注目できる取組を行っている。次年度以降は同様の取組による具体的な成果(参加者の論文掲載など)の報告を期待する。
【社会貢献】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【グローバル化】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。